

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

ブログ出版局

こんにちは、らくだです。

今日は中華屋台のイベント、華友祭へ行ってきました。
会場は湊町リバープレイスで、なんば駅から徒歩からの場所です。

地下街から外へ出ると、さっそく目立つ看板が。



「1日限りの中華街」と説明に書いてある通り、華友祭は、中華の屋台グルメが楽しめるイベントです。

それにしても……。

ちょうど昼時だったせいか、すでにもものすごい人出……。



どう見ても席がなさそうですが、ひとまず食料を確保しましょう。

まず目にとまって購入したのは、葱抓餅とタピオカミルクティー。
葱抓餅は台湾でよく売られている、お好み焼きのような食べ物です。



会場を歩くうちに、牛肉麺の屋台を発見したので、こちらも購入。

ビールも欲しいけど……。

まだ昼間だしガマンガマン……。



結局空いた席はなかったので、広場の階段で食べることに。

目の前は道頓堀ですが、繁華街から少し外れているので、爽やかな雰囲気です。

下のタピオカミルクティー、値段は400円もしましたが、とても美味しかったです。



この後カラアゲとシウマイを食べました。
会場が混んでいて大変でしたが、お腹いっぱい満足しました。

最後に階段の上から撮った写真を。
会場を彩る鮮やかな提灯が、いかにも中華な雰囲気です。



以上、華友祭の様子でした。

自分は今回初めて参加しましたが、このイベントは毎年開催されているようなので、来年も是非行ってみたいです。

11月です - 2015.11.02 Mon

こんにちは、らくだです。

なんだかんだ言っている内に、早くも11月になりました。
今年も残すところ2か月ですが、悔いのないよう頑張りたいです。

さてさて。

まずは毎月恒例の、パブー版の紹介から。

内容はブログそのままですが、クリック回数がブログより少なくて済むので、まとめ読み等に活用ください。

【らくだ図書館（46）】

<http://p.booklog.jp/book/102325>

らくだ図書館も、ついに46か月！

このまま順調に行くと、再来月に丸4年達成！

というわけで、その事実で自分で気づき、改めてビビっております（汗）

だって4年ですよ？

中学高校は3年だけど、それより長いんですよ？

開設当初から見てくださっている方とは、もう4年の付き合いになるわけで、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

ワナビなんて身分は早く卒業できた方がいいんですが、こうして自分のやってきたことが積み上がっていくのは、また違った意味で誇らしいし一種の達成感がありますね。

これからも皆様に愛される場所を目指し、自然体の投稿生活を、日々発信していきたいと思えます。

LINE にまさかのワナビスタンプ登場！

釣りか？

どうせいつもの釣りだろ？

と思ってチェックしたら本当にワナビでした。

【原稿うさぎ】

<https://store.line.me/stickershop/product/1208132/ja>

「小説家のうさぎ」だったら無難なのに、あくまで「小説家を【夢見る】うさぎ」なところが、泣かせるじゃねえかコンチクショー！

お前なんか受賞しやがれ！

デビュー作は10冊しか買わねえからな！

というわけで。

変にテンションが上がりましたが、とにかく喜ばしいニュースです。

このスタンプはネタ半分ですが、どんな形であれ小説投稿者にスポットライトが当たるのは、やっぱり嬉しいこと(?) ですよ。

そういう機会がこれから増えていけば、ワナビという言葉につきまとうイメージも、今よりよくなるかもしれませんし。

そういう期待の気持ちを込めて、このLINEスタンプ、さっそく購入してみました。

準備はバッチリ！

あとはこのスタンプを送れる友達を作るだけだ！

ぼっちでも LINE スタンプを使う方法- 2015.11.04 Wed

LINE スタンプを買ったはいいけれど僕は友達が少ないどころか一人もいないから使う機会がまったくない。

そんな時は！

自分一人きりのグループを作って、そこに押しまくったらいいのさ！



ってわけで、昨日買ったワナビスタンプを使いたかったので、自作自演。

ふはははは！

ぼっちの怖さを思い知ったか！

まあぶっちゃけこの方法は、ぼっち仲間から教わりました。

(ぼっちなのに仲間がいるという根本的な矛盾)

プレビュー画面だとスタンプの表示が小さいし、特に動くスタンプとかは、押した状態でゆっくり見たいですもんね。

そんな時に活用してみてください。

どれだけ頻繁に送っても、誰にも迷惑をかけません。

え？

はたから見ると寂しい奴？

気にすんなって！

どうせ誰も見てねーんだ！

それにしても、この発想がなかった自分は、まだまだぼっち力が足りないようです。
今後さらにぼっちを極めて、楽しい一人遊びを思いつけるよう、精進したいと思います。

こんにちは、らくだです。
前は久し振りにコメントが複数きました。

そんなわけで早速レスを。
皆様どうもありがとうございます。

【常木らくだは孤独の戦士】

そんなことを言われると哀戦士を熱唱したくなるのでやめてください。

【らくださんのブログを長い間、愛読し続けて、自分が書く文章が、らくださんのと似てしまうことが稀にあるかもしれません。】

いいわよー！
どんどんやっちゃってー！

ただし常木らくだに似た文章を書くとなると落選する可能性が高いので、もっと実力のある人を参考にされた方がよろしいかと思われます。

【このブログ見たら、原稿うさぎのスタンプ欲しくなりました】
【らくださんに続いて、原稿うさぎ購入！】

おお、実際に購入者が！
これはスタンプ制作者から宣伝料を取った方がいいのでは……（違）

いつかお互い作家仲間になって、連絡先を交換するようなことがあれば、このスタンプでやり取りしたいですね！

iらんど大賞の通過作品 - 2015.11.06 Fri

こんにちは、らくだです。

最初に見たガンダムで、だいたい年齢が判明するという話がありますが、自分の場合は初代です。

さてさて。

第9回魔法のiらんど大賞の予選通過作品が10月末に発表されました。

こちらはネット小説の賞なので、誰でも通過作が読めちゃいます。

【発表ページ】

<http://award.maho.jp/entrylist/>

どの作品が選考に残るかを予想する、「ノミネートクイズ」も開催されているようなので、気になる方はリンク先をチェックしてみてください。

それから同日発表で、第10回も開催決定！

エントリー開始は来年の3月なので、詳しい応募要項はまだ未発表ですが、もう第10回なんて本当にあっという間ですね。

【告知ページ】

<http://award.maho.jp/special/1379/>

自分はアカウントを取ったまま投稿していませんが、受賞作家さんがメディアワークスで刊行していたりするので、その点がMW文庫好きにとっては魅力的なんですよ。

基本的に若い女性向けのサイトではありますが、中には硬派な作品もありますし、機会があれば挑戦してみたい賞の一つです。

「職種」と書きたいのに「触手」に変換されるなんてことは、変態ワナビの愛用パソコンにおいてよくある出来事です。

さてさて。

ひどい冒頭で始まりましたが、今回は真面目に本の話題を。

ツイッターなどで話題になっているようですが、来月、KADOKAWA からこんな本が出版される模様です。

『面白ければなんでもあり』

発行累計 6000 万部――とある編集の仕事目録（ライフワーク）』

著・三木一馬／カバーイラスト・abec

12月10日発売予定／本体 1,200 円＋税

【公式サイト】

<http://amwbooks.asciimw.jp/sp/nandemo/>

著者は電撃文庫編集長の三木一馬さんで、編集という仕事の裏話や、創作のコツなどが紹介されているようです。

三木さん……。

名前はよく聞いていましたが、こんな方だったんですね……。

（紹介ページに写真と経歴が載っている）

それから、まだ詳しく確認できてませんが、かなりの部分が試し読みできるようになっているみたいですね。

各章のサブタイトルを見たところ、創作の役に立ちそうな項目がたくさんあるので、時間がある時にゆっくりチェックしてみようと思います。

小説を書いていると辞書をひく機会が多いですが、思わぬ誤表記を発見して、冷や汗を流すこともしばしばあります。

ただのミスなら直せばいいのですが、そもそも覚え間違えているケースなんかは、なかなか発見できないものですね。

というわけで、今回は自分が間違っ覚えていた表記について書いてみます。

【目が据わる】

じっと動かないという意味で「座る」かと思いきや「据わる」が正解。
「肝が据わる」や「腰が据わる」も同様らしいです。

【あくどい】

悪質という意味で「悪どい」だと思ったのに変換できない……？
気になって辞書を調べたところ、あくどいの「あく」は悪ではなく、アクが強いアクだそうです。
というわけで、ひらがなが正解。

【一卷の終わり】

全部という意味で「一貫」だと思ったら正解は「一卷」。
物語がすでに完結してしまっ、手直し不能な状態を指す言葉。
これは他の方に指摘されて知ったので、自分では気付けなかったと思います（汗）

他にもたくさんあったはずですが、すぐ思い出せるのはこれくらい。
そのうち他にも思い出したらまた色々書いていきます。

文中に誤表記があったからといって、それだけで落選にはならないと思いますが、正しく書けるに越したことはないの、これからも勉強していきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

今回はバーコードに関する雑談です。

レターパックは投稿者の強い味方ですが、最後の1桁は、0～6しかないことをご存知でしょうか。



こちら実際の伝票番号は前の11桁で、最後にある12桁目は、チェックデジットという番号です。

レターパックの場合、計算式は公表されていないようですが、前の11桁を7で割った余りの数が該当するようです。

なるほど！

7で割った余りの数だから、7以上がないんですね！

ちなみに商品 JAN コードの場合、「偶数列の合計を3倍した数に奇数列の合計を足してその数字の下1桁を10から引いた数字」が、チェックデジットになります。

(販売士の試験にそういう計算問題があった・汗)

もし仮にチェックデジットがなかったら、入力を1桁間違えただけで違う商品になってしまうので、こういう仕組みになっているんですね。

とまあ、とにかく。

そんなケースはまずないと思いますが、最後の1桁だけ不明瞭で読み取れないなんて時は、自分自身で計算できちゃうわけです。

以上、投稿とあまり関係ありませんが、バーコードに関する豆知識でした。

こんにちは、らくだです。

ウェブ拍手から嬉しい応援コメントを頂きました。

返信不要とあったので内容は載せませんがありがとうございました。

さて、本日の本題を。

現在開催中の第4回ネット小説大賞（旧なろうコン）ですが、新部門「タワーオブプリンセス部門」の追加が決定したようです。

【告知ページ】

http://www.cg-con.com/novel/novel_tpkokuti/index.html

今回追加された新部門は、オンライン RPG『TOWER OF PRINCESS（タワーオブプリンセス）』を原作とした、二次創作の部門だとか。

自分はこの作品を知らなかったもので、急いでゲームサイトを見てきましたが、水樹奈々さんが主題歌を歌っているんですね！

それにしても、単に二次創作が可能なだけじゃなく、きちんと賞として募集するという機会は、今回のなろうコンが初めてなんじゃないかと思います。

これ、よく考えたらスゴイですよ？

今までは「二次創作＝同人活動＝個人の趣味」という認識だったけど、今後は二次創作で受賞や書籍化を目指すことも公式に可能になるわけで、双方にとってどんどん活動の幅が広がるんじゃないかなと。

詳しい要項はまだ発表されていませんが、この企画が盛り上がったら他のゲームでも開催されるかもしれないし、どんな展開になっていくのか楽しみです。

こんにちは、らくだです。

今回は趣味に関する雑談です。

自分は隠れオタクですが、それゆえ初対面の相手に「趣味は何ですか？」と聞かれると、非常に困ってしまいます。

たとえば、

「ゲームが趣味です！」 ⇒ オタク認定される

「読書が趣味です！」

好きな本を聞かれる ⇒ マンガやラノベしか答えられない ⇒ オタク認定される

「音楽鑑賞が趣味です！」

好きな音楽を聞かれる ⇒ アニソンやキャラソン中心 ⇒ オタク認定される

「スケート観戦が趣味です！」

⇒ オタバレしない優秀な回答

ただし相手もフィギュアスケートが好きで、その上で推し選手が違ったりすると、それはそれで微妙な空気が流れる

(野球の話で応援球団が違うみたいな状況)

以上の失敗を幾度となく繰り返した結果、自分にとって嘘がなくもっとも無難な回答は、「趣味は旅行です！」だと判明しました。

旅行の話題は割と誰でも乗ってくれるし、思わぬ方向に会話がそれでも、オタバレする可能性が比較的低い！

ただ旅行一辺倒だと話もそのうち尽きちゃいますし、会話のバリエーションを増やすためにも、何かもう一つくらい趣味を用意(?)したい最近です。

こんにちは、らくだです。

今回もコメントレスです。

いつも応援ありがとうございます。

【無難な方向に逃げるな！ オタクだと胸を張れ！】

それができないから隠れてるんだ！（涙）

たしかにサブカル好きであっても、明るくオープンな方もいますよね。

自分は超がつくほどの小心者なので、親しくない相手には言いづらいです……。

【Web 拍手からコメントが投稿できることを先程知りました】

わかりにくいですが、実はそうなのです。

サイトの一番下に拍手ボタンがあり、その先の画面でコメントできます。

コメントなしで拍手のみも可能なので、「いいね」と思ったら是非とも拍手を！

【今年はノベル大賞、投稿されますか？】

はい、投稿する予定です！

一緒に通過リストに載りたいですね！

【これからも更新楽しみにしています】

かなり遅れてしまう時もありますが、フェイドアウト終了はしないので（やめる時はやめると言う予定）、しばらく更新がなくても気長に見守ってくださいませ m(_ _)m

ウェブ拍手からのコメント入力ですが、現状あまりにもわかりにくい仕様なので、後で柱に説明を足そうと思います。

これからも「らくだ図書館」をよろしくお願い致します。

ようやく届きました - 2015.11.13 Fri

皆は選評を開封するのが怖いと言うけれど前回おままとレベルという言葉もらった自分に怖いものは何もない！（涙を流しつつ絶叫）

というわけで、早い地域では火曜日に届いていた電撃の選評ですが、自分の手元にもやっと届いて読むことができました。

ちなみにどうして遅かったかというと、封筒にマンション名と部屋番号が書かれていなかったの、配送できず迷子になっていた模様。

応募時には書いたはずですが、まあとにかく、それでも届いてよかったです。無駄に長すぎるマンション名だから、つい省略しちゃったのかもしれませんが。

それから肝心の内容なんですが、総合評価はもちろん個別評価もBマイナスが並んでいて、ある意味すごくわかりやすい（汗）

あとコメント欄では、前の方も後ろの方も口を揃えて、「この内容なら女性向けにした方がいいんじゃないか」と。

なるほどなー……。

この内容は女性向けかー……。

男女どちらの読者でも共感できるようにと配慮して、男性キャラと女性キャラの視点を交互に入れたんですが、よかれと思った試みが完全に裏目に出たわけですね。

うん、まあ仕方ない。

視点交代が鬼門なのは理解していて、それでもあえてやったことだから、自分の挑戦に対して後悔はないです。

ただその中途半端さが読み手にはストレスだったということで、落選理由もハッキリしたことですし、今回の結果は残念でしたがまた気持ちを切り替えようと思います。

こんにちは、らくだです。

前回に続いて今回も評価シートの話です。

やっと届いた電撃の選評ですが、一晩たって振り返ると、また色々と浮かんできます。

昨日も書いた通り、自分の挑戦に対する後悔はないんですけど、その挑戦が読者にはストレスだったということに、どうして書きながら気付けなかったんだろうなって。

その事実が本当に悲しいし、自分自身が情けないです。

小説って基本的に娯楽なのに、ストレス与えちゃ用ないですし。

まあでも考えてみれば、自分では配慮のつもりでしていた行動が、相手にとっては迷惑だったなんていうのは、普段の日常生活でも普通によく起こる出来事ですよ。

人はそれぞれ価値観が違うし、たとえ価値観が一緒の相手でも「する方」と「される方」では、何を感じ取るか違いますし。

そういうすれ違いは出来れば減らしていきたいですが、辞書に答えが載っているような問題じゃない以上、結局は経験を重ねて学んでいくしかないのかなと。

というわけで。

「この配慮は相手に必要な配慮なのか」というのは、日常生活もさることながら、創作でもこれからもっと気を付けようと思いました。

普段の日常生活と違って、小説は相手との距離が遠い上に顔も見えないから、読み手と温度差ができてしまった時に余計にすれ違いが大きくなりがちですもんね。

以上、選評に関するひとりごとでした。

こんにちは、らくだです。

ウェブ拍手について説明したら、コメントの件数が倍増しました。

ちなみにコメントレスですが、すべて載せるのはスペース的に大変なので、ある程度たまったら抜粋して記事にする方針でいこうかなーと思います。

すみません……。

せっかく頂戴したコメントに、すべて返信できないのは、非常に心苦しいですが……。

ただスペース的に載せられなかった件についても、応援の気持ちはしっかり受け取っておりますので！

とにかくそういうわけで、今回も部分的に返信します。

【この機能は少しの感想を伝えるのに便利ですね】

そうなんです。

今のところ非公開の設定なので、気軽な気持ちでご利用ください。

【そろそろ火鍋レポートを！】

はっ、最近そういえば食べていない……！

気付かせてくれて感謝です、来週あたり行ってきます。

【作品を投稿した後、有名作家さんと設定やシチュエーションが丸被りだと気が付いて、ヘコんでいます】

わかる……（涙）

名前が被っただけでも微妙なのに、設定丸ごとなんて悲しすぎます。

ただ執筆中は知らずに書いたわけですし、真似じゃないということがちゃんと相手に伝わって、よい結果が出ることを祈っています……！

こんにちは、らくだです。

先日話題にしたネット小説大賞の新部門、「タワーオブプリンセス部門」ですが、詳しい応募要項が公開された模様です。

【公式サイト】

http://www.cg-con.com/novel/novel_tp/youkou.html

気になった点をまとめると、

- ・受賞作品は書籍化（メディアミックスも検討）
 - ・原作の雰囲気を変えない範囲であれば新キャラの追加も可
 - ・小説の一部または全部を使用して「ゲーム内のイベント化」も検討中
- （受賞作品を活用したシナリオ作成や出演声優の収録立ち合いなどをお願いする場合があります）

え、イベント化？

出演声優さんの収録？

つまり受賞してシナリオが採用された場合、水樹奈々ちゃんが自分の書いたセリフを読んでもくれる上に、その現場に立ち会えるということですか？（真顔）

というわけでこの「タワプリ部門」、今までの賞とはまた違った意味で、注目度が高くなりそうな企画ですね。

自分は残念ながら未プレイなので、今回は投稿せずに見守る予定ですが、好きなゲームでこういう展開が来たら全力で参加します！

この企画が盛り上がれば、今後他のゲームに広がる可能性はおおいにありますし、期待したいところです。

新サイトはカクヨムに決定- 2015.11.17 Tue

こんにちは、らくだです。

KADOKAWA の小説投稿サイトですが、正式名称が「カクヨム」に決定し、応募要項が公開された模様です。

【カクヨム】

<http://kaku-yomu.kadokawa.jp/>

詳しい説明は上記公式サイトにありますが、選考委員がカドカワ系のほぼ全レーベルに及ぶのは、さすがに予想外でびっくりしました。

MF文庫J編集部、角川スニーカー文庫編集部、カドカワBOOKS編集部、ドラゴンブック編集部、ビーズログ文庫編集部、ビーズログ文庫アリス編集部、ビーンズ文庫編集部、ファミ通文庫編集部、ファンタジア文庫編集部、富士見L文庫編集部、ルビー文庫編集部

これだけレーベルの幅が広いなら、どんな作品でもしっかり受け皿がありそうですし、投稿する側にとっては朗報ですね。

ただ気になるのは「読者選考によるランキング上位作品が、編集部による最終選考へエントリーされます」という一文。

某なろうコンとかは、「ポイントがゼロでもすべて読みます！」だったけど、こっちはそういう方式じゃなさそうですね……。

まあ実際どういう状況になるかは、始まってみないとわからないので、引き続きコンテストの続報を待ちたいと思います。

【書いた作品が誰にも認められなかったら、自分のしたことは無駄なんじゃないか……という恐怖に襲われますが、そんな中でらくだ図書館を見つけました】

というコメントをいただきましたが、気持ちがわかりすぎてつらいです。
自分を含め小説投稿者なら、こういう不安や恐怖は、誰もが経験すると思います。

「もしデビューできなかったら、これまで小説投稿に捧げてきた時間も労力も、すべてが無駄になってしまう」

熱中している時は平気なんですけど、ふとした瞬間に、つい考えてしまうんですね。
今はその時期は越えましたが、途中までは、それが本当に怖かったです。

ちなみに今の自分は、負け惜しみに聞こえるかもしれませんが、「最終的にデビューできなくても小説投稿をしてよかった」と思っています。

たとえば、

「片想いに終わった恋愛は無駄なのか？」

「甲子園に行けなかった球児は野球をやって無駄だったのか？」

答えは人によって色々だと思いますが、自分は無駄じゃないと思うんですね。

目的そのものが叶わなかったとしても、何かに熱中したことで得られた教訓や反省は、その人の人生を輝かせてくれると思うんです。

成長ってそこから生まれるものじゃないでしょうか。
そもそも何も挑戦しなかったら、反省も成長もできないですから。

まあ結局、何が無駄で何が無駄じゃないかは、本人にしか決められないことなので、自分自身の価値観に照らし合わせて、じっくり考えてみるのがいいと思います。

カクヨムのオープン日 - 2015.11.19 Thu

先日話題にした「カクヨム」ですが、サイトの頭に 2016 年 2 月 29 日オープンって書いてあるけど、下の方には 2015 年 12 月投稿受付開始って書いてあるから、何を信じていいかわからない。

なんだこれは！

高度な情報戦ってやつか！

【公式サイト】

<http://kaku-yomu.kadokawa.jp/>

混乱しつつ改めて要項を確認したところ、

- ・ 応募受付期間 2015 年 12 月 25 日（金）～2016 年 2 月 28 日（日）
- ・ 読者選考期間 2016 年 3 月 1 日（火）～2016 年 3 月 31 日（木）

だと書いてあるから、サイト自体のオープンは、たぶん 12 月ですね。
準備会ブログに載っている補足説明を見てもそのように読み取れました。

うーん……。

2 月 29 日オープンって告知は混乱の元じゃないかな……。

あと読者選考については、まだ詳細は不明ですが、

- ・ 一人一票の投票制
- ・ なるうのようなポイント制
- ・ ユーザーアクセス数によるランキング制

このあたりの集計方式 or 組み合わせが考えられます。

いずれにせよ、来月にはさらに詳しい要項が判明すると思うので、このコンテストが今後どういう展開になるのか、引き続き動向を追っていきたいと思います。

前回の補足 - 2015.11.20 Fri

こんにちは、らくだです。

前回話題にしたカクヨムですが、準備会ブログに、本日補足説明が追加されました。

【応募受付期間】

2015年12月25日（金）～2016年2月28日（日）

- ・サイトに投稿できるが作品は公開されない
- ・投稿システムに慣れる&作品を書きためる期間

【読者選考期間】

2016年3月1日（火）～2016年3月31日（木）

- ・実質的なサイトオープン
- ・書いた作品が公開され、読者選考期間スタート

なるほど……。

非公開の期間が2か月以上あるわけですね……。

あとこのコンテストに限っては、読者ランキングで上位に入った作品以外は、編集部にも読んでもらえないという追加説明もありました。

なるうコンは「すべて読む」をウリにしている、実際にポイントゼロの作品も通過しているのを見た気がしますが、そこは選考において大きく違うところですね。

というわけで。

出てきた情報を小出しにまとめていると、逆にわかりにくくなってしまうので、これからは確定事項がある程度たまってからまとめようと思います（汗）

以上、今回もカクヨムの話題でした。

明日から三連休の方も多いと思いますが、皆さまよい週末をお過ごしください。

こんにちは、らくだです。

先月末が締切りだったH Jですが、早くも応募総数が公表されました。

ってというか、単に自分が気付かなかっただけで、11日更新のブログで発表されていたんですね（大汗）

後追い情報で申しわけない……。

要項のページは変化ないから、まったく気付かなかったよ……。

【H J ブログ】

<http://hobbyjapan.co.jp/hjbunko/bunkoblog/?p=21259>

というわけで。

今回の応募総数は325作品だった模様です。

数としては前回より減りましたが、H Jさんは読者グランプリとか独自の企画を持っていることだし、選考が盛り上がるといいですね。

あと個人的にH J大賞の好きな部分は、評価シート（2次落ち以上）に、編集者さんの名前が書いてあるところ。

落ちた以上やり取りはできないんですが、誰が読んだかちゃんと示してくれるのは誠実だし、H Jの好感度が爆上がりした瞬間でした。

ちなみに肝心の内容は、A～Eの5段階評価で、最低の「E」でしたが……。

まあそういう評価になったのは、誰のせいでもなく、自分の原稿が悪いつてことで……。

とにかくそんなわけで、今回は応募できませんでしたが、発表&読者グランプリを見守りたいと思います。

近ごろ創作活動が滞っており、このブログの更新もさることながら、メールにも返信ができない状態が続いております（土下座）

すみません……。

早く取り戻せるように頑張ります……。

ひとまず今回は、返信が必要な質問について、お答えします。

【年賀状について】

もちろん歓迎です。

住所は大丈夫だと思いますが、もし質問して下さった方以外にも「是非とも出したい！」という方がいらっしゃれば、メールにてご連絡ください。

【コメントの連投について】

ぜひ連投してください。

返信できないのが申しわけないですが、すべてありがたく拝読しております。

コメントがたくさん来たら励みにこそなれ、迷惑になることはまったくありません！

【過去の記事の扱いについて】

基本的に過去の記事については、たとえ自分に不都合な内容であっても、消さない方針でやっています。

不都合の範囲が私以外にも及ぶのであれば、その部分は差し替えますので、その旨お伝えいただければと思います。

【らくだ図書館大丈夫ですか？】

大丈夫です。

毎日更新はできていませんが、数日に一回爆発する便秘スタイル（最低）で、ドカンと更新していきます。

もうすぐ NHK 杯 - 2015.11.23 Mon

こんにちは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

先月開幕したグランプリシリーズ 2015 ですが、早くも 5 試合が終了し、残すは今週末の NHK 杯のみとなりました。

放送予定や出場選手の情報は、公式サイトで確認できます。

それ以外にも記者会見や、過去のハイライト動画などが多数公開されていて、なかなかの見応えです。

【公式サイト】

<http://www.nhk.or.jp/figure/>

NHK 杯の魅力とったら、全種目全滑走を、生放送してくれる点。

通常は放送されないペアやアイスダンスも見られるし、CM 中断がないのも見る側にとっては嬉しい部分です。

そんな素敵な NHK 杯ですが、去年は「偶然立ち寄ったホテルで記者会見が開催されていた」という、予想外すぎる事態に遭遇。

【当時の記事】

確かに大阪だけどさ……。

あの時は本当にビックリしたわ……。

今年の NHK 杯の会場は長野なので、そんなラッキーな事件はあり得ませんが、テレビ観戦を楽しみたいです。

こんにちは、らくだです。

ふるさと納税に申し込み、お礼のお米が届きました。

写真では伝わらないと思いますが、27キロという圧倒的な重量です。



ふるさと納税とは、

- ・自治体に寄付をするとお礼に様々な特産品が貰える
- ・寄付する地域は自由に選べる、自分に関係ない場所でもOK
- ・払ったお金は基本的に戻ってくる（翌年の所得税・住民税から控除される）

つまり簡単に言うと、「地域の特産品が貰えちゃってお金は戻ってくるよ！」という、魅力的な制度です。（詳しい説明は、専門のサイトがたくさんあるので、ここでは省略）

我が家もいくつか申し込みましたが、今回届いたのは写真の通り、兵庫県市川町のお米27キロでした。



こちらは市川町のマスコットキャラ「ひまりん」ですが、魔法陣グルグルの「くまたいよう」に見えてしまう自分……。

(誰かわかってくれ)

それにしても、これだけお米があれば、かなり長く食べられそうです。



ちなみにお礼は特産品ですが、食べ物ではありません。

例えば鳥取県倉吉市では、市内にグッスマの工場がある関係で、桜ミクのねんどろいどフィギュアが出されていました。

今はもう受付が終わってますが、もし知っていたら欲しかった……。

【参考サイト】

<http://www.city.kurayoshi.lg.jp/p/furusato/4/5/>

そんなこんなの、ふるさと納税。

地域によっては模型や家電を出していたり、カタログを見ているだけでも楽しめるので、これからもチェックしていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

パン派かご飯派か聞かれたら、自分は圧倒的にパン派です。

というわけで、近ごろ話題のホームベーカリーを買ってみました。



ジャジャーン！

メーカーの回し者ではありませんが、グランフロント大阪のパナソニックセンターに並んでいるのを見て、以前から気になっていたのです。

(前を通るとパンのいい匂いがする)

そんなわけで早速チャレンジ。

なんだかちょっとドキドキします。



手順は至って簡単で、材料を入れるだけ。

生地をこねる必要もないですし、オーブンではなかなか難しい温度調整も、機械が勝手にやってくれます。

およそ4時間後、無事に仕上がり。



半信半疑でフタを開けたら、ちゃんと出来ていました！

いや、出来なかったら不良品なのですが、「パンは買うものだ」という先入観があるせいか、ちゃんと出来上がったことに改めて感動です。



続いては冷ます作業。

濡れた布巾の上に置いて、数分間余熱を取ります。

しばらくしてから取り出したら、無事に食パンの完成となります。



外はサクサク、中はフワフワ。

添加物なしの出来立てパンは、お店以上に美味しかったです。

炊飯器はたいていの家にあると思いますが、さらにホームベーカリーもあれば、主食の選択肢が広がって楽しいですね。

さらにこのホームベーカリー、餅やうどんやギョーザの皮（！）もできるらしいので、今後作ってみたいです。

オバラプの2次発表 - 2015.11.26 Thu

こんにちは、らくだです。

吹きゆく風も冷たくなり、季節はすっかり冬ですね。
今まで着る毛布で耐えていましたが、我が家もとうとうコタツを出しました。

さてさて。
オーバーラップ（8月締切り）の2次結果が発表されました。

いつも通りリンクを貼っておきます。
通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/announcement.aspx>

応募総数	386本
1次通過	57本（約15%）
2次通過	8本（約2%）

自分は今回は参加していませんが、オーバーラップの好きな部分といえば、発表と同時に選評が貰える点です。

落選から選評到着まで空白があると、落ちた理由がわかりませんし、その間モヤモヤしちゃいますからね。

その点落選と同時に選評が読めると、もちろん残念ではあるんですが、気持ちの切り替えがしやすいというか。

という感じで、今は色々な賞やレーベルがありますが、それぞれにいい部分があると思うので、これからも幅広く情報を追ってみたいです。

こんにちは、らくだです。

9月末締切りだったルルル大賞が、現在、読者審査員を募集しています。

少女系で読者審査がある賞といえば、まず真っ先にビーンズが思い浮かびますが、ルルルでも取り入れたんですね。

【読者審査員募集】

http://lululubunko.jp/lightnovel/novel_judges.html

- ・資格 ルルル文庫が好きで以下の期間に作品を審査できる人
- ・審査期間 2016年2月
- ・募集人員 30名
- ・締切り 2015年11月30日(月)
- ・発表 選ばれた場合はメールで連絡
- ・備考 読者審査員の方には、図書カード5,000円分と、読者審査員任命証を進呈

最終選考の作品を読んだら、勉強になること間違いなし！

しかも図書カード5,000円分まで貰えちゃう！

というわけで自分も応募したいのですが、ルルル文庫は「中高生対象」と明記してあるので、プロフィールで確実に落とされそうです。

ぐぬぬ……！

あともう少し(いやだいぶ)若ければ……！

というかそれ以前に、そもそもこういう企画って、ワナビの参加お断りですよ(汗)

そんなわけで自分は無理ですが、ご興味のある方がいらっしゃれば、リンク先の要項をチェックしてみてください。

小肥羊 あびこ駅前店 - 2015.11.28 Sat

今まで心齋橋にしかなかった小肥羊が、梅田に続いてあびこ駅前にオープン！

というわけで先月開店したばかりの、火鍋専門店「小肥羊（シャオフェイヤン）」、あびこ駅前店へ行ってきました。

家から近いのは梅田ですが、関西圏の行ける店にはすべて行っておきたいという、火鍋大好きっ子の自分です。



御堂筋線のあびこ駅を出たら、目の前にこの看板がありました。

さっそくビルの中に入り、エスカレーターで2階へ。

サイゼリヤの前を通り過ぎると、羊マークの看板が見えてきます。



なんとオープンキッチン！

調理の様子に興味津々ですが、ひとまず席に着きましょう。

店内は広々とした雰囲気が漂っていて、まるでオシャレなカフェのようです。



写真の通り店内のテーブルは、コンロが内蔵されていない普通のタイプで、あまり中華中華していません。

とはいえ火鍋は本格的。

いつも通り、運ばれてきた二色の鍋（白湯と麻辣）を、素早く撮影。



火鍋のツーンとした匂いは、苦手な方もいるようですが、自分はこれが大好きです。

しばらく食べないと禁断症状が出るくらい。

薬味の影響かもしれませんが、いい意味で中毒性がある味です。



カセットコンロを点火。

スープが沸騰してくると、さらに香辛料の匂いが強くなり、食欲を増進させます。

今回注文したのはバリューコース 1,980 円で、ラム肉、鶏肉、野菜の盛り合わせがセットになっています。



コースをたいたらげ、ラム肉（大）と肉団子を追加し、それもすべて完食！

デザートもセットになっていて、今回はマンゴープリンでした。

一口食べた後に思い出して、慌てて写真を撮りましたが、味が濃厚でおいしいです。



そんなこんなの小肥羊。

今回はあびこへ行ってみましたが、今月頭には、京都河原町店もオープンしたとか。

というわけで、次回火鍋を食べる際は、京都に遠征しようと企んでいます。

お楽しみ（？）に！

こんにちは、らくだです。

第2回アイリス恋愛ファンタジー大賞の最終結果が発表されました。

今回は大賞1本・金賞1本・銀賞3本で、合計5作品が書籍化される模様です。

受賞された皆様おめでとうございます！

【発表ページ】

http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/renaif_award/final/

ズラリと並んだ作品タイトルを見ていると、異世界ファンタジーが圧倒的に多いようで、やはりなろうの賞だなあーという印象です。

(そもそも「ファンタジー大賞」なので、当然と言っちゃ当然ですが)

ちなみになろう発以外でも、少女小説はファンタジーが主流ですが、自分の中ではこういう印象。

- ・既存のレーベル 王道異世界ファンタジーが多い
- ・なろう発レーベル 舞台は異世界だが、転生や召喚など、メタ的要素がある

大賞作品（悪役令嬢ポジションで乙女ゲームの世界に転生）とか、まさしく「ザ・なろう！」って感じのあらすじですね。

というわけで、今まで男性向けが主流だったように思いますが、女性向けの作品も増えつつあるようなので、今後もジャンルとして賑わって欲しいです。

あと今は第3回の募集中（1月締切り）ですが、第4回の開催も決定しているようなので、そちらの情報も追っていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

とうとう 11 月も終わりですね。

月末の賞に投稿された皆様はお疲れ様でした。

さてさて。

今回の話題はガガガの 1 次発表についてです。

去年は 11 月中旬に発表がありましたが、今年の発表は例年通りの日程でした。

【発表ページ】

http://gagagabunko.jp/grandprix/entry10_1stResult.html

応募総数 1,128 作品

1 次通過 110 作品

通過率 約 9.75 %

今回自分は投稿していませんが、数年前に「落選したよガガガーン！」というギャグを披露して、「さすがに寒い」「センスが昭和」など散々なコメントが集まった思い出が……。

ちょっと待つてよ？

「さすがに」ってことはつまり、今までも寒かったって意味？

(いや、自覚は充分にあります)

(というか平成のギャグセンスってどんな感じだ)

まあそんな寂しいトラウマはさておき、通過した皆様はおめでとうございます！

ガガガは 2 次で絞ってくる印象ですが、どの作品が受賞して刊行されるのか、結果を楽しみに待ちたいと思います。